

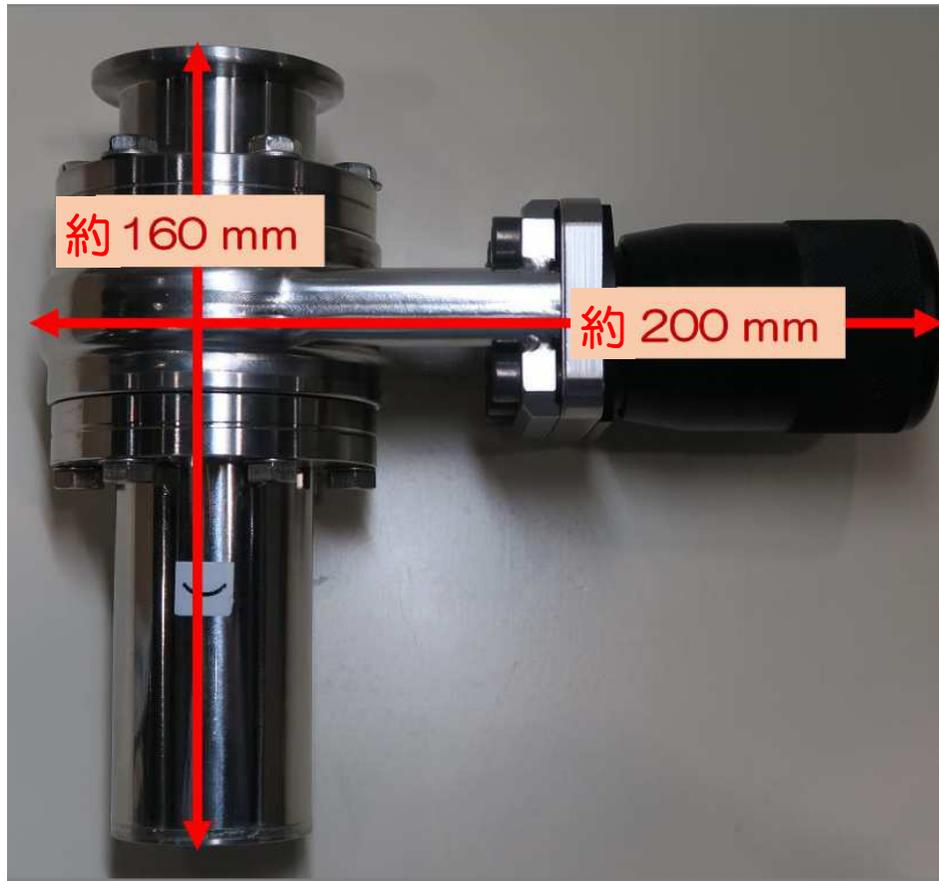
AichiSR BL6N1 トランスファーベッセルの使用 方法 (大気圧XAFS装置用)

※ 本トランスファーベッセルは、真空XAFS・XPS装置用トランスファーベッセル (BL1N2, BL7Uと共通) との**互換性はありません**。

~~※ 本トランスファーベッセルは、**部分蛍光収量XAFS測定にのみ対応**しています。
転換電子収量XAFS測定には対応していません。~~

→ 本トランスファーベッセルが**転換電子収量法に対応いたしました**。
(部分蛍光収量法はこれまで通り利用可能です。)

1. 構成



トランスファーベッセル本体

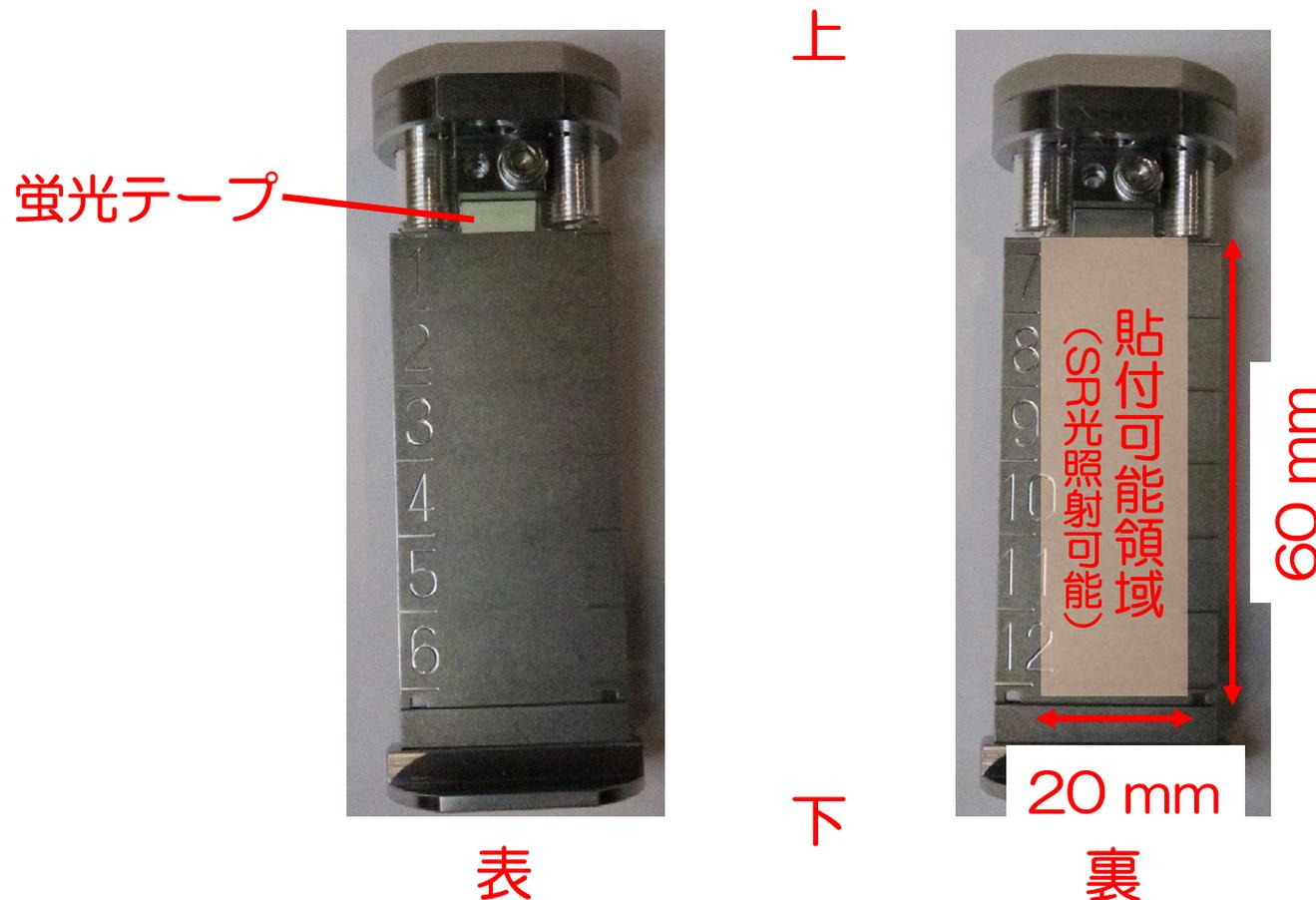


サンプルプレート

2. 試料準備

導電性テープ等でサンプルプレートに試料を固定する。

- ※ 試料貼付（SR光照射）可能領域は縦60 mm×横20 mm。
- ※ 表と裏の両面に試料を貼付可能。
- ※ 蛍光テープ貼付側が上。
- ※ 試料厚みが5 mm以上ある試料については要相談。



3. ベッセルへの封入

サンプルプレートをねじ付きSUS棒を使いベッセルに挿入し、バルブを閉じる。



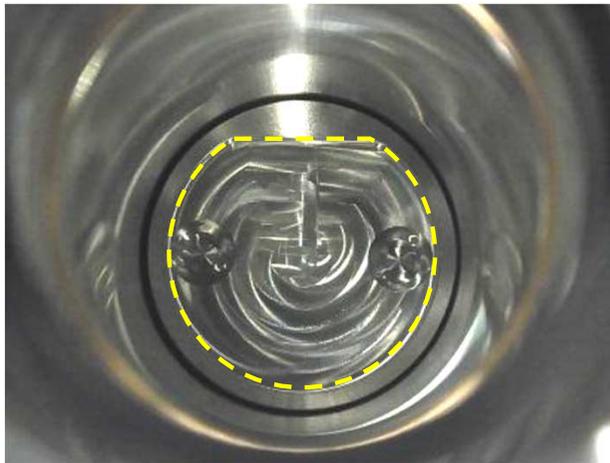
ねじ付きSUS棒

※ バンク収納時の注意点

ベッセル底部にサンプルプレート回転防止用の溝が設けられています。

サンプルプレートを挿入した後、サンプルプレートの下部部品が溝にはまるまでサンプルプレートを回転して下さい。

挿入前



ベッセル下部に
回り止め用の溝がある

挿入後



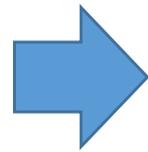
下部部品が溝にはまり
固定された状態

4. ケースへの収納

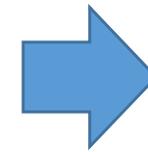
トランスファーベッセルを輸送する場合は、専用ケースに収納する。
 収納後は、バンクがベッセル底部の溝から外れることを防止するため、ケースを極力傾けないようにする。



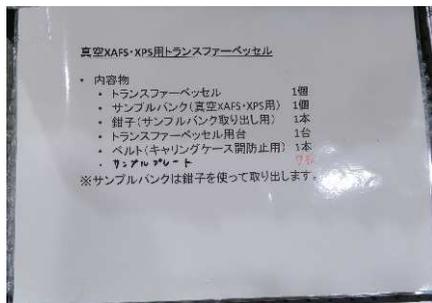
トランスファーベッセルと
 付属品を収納。



梱包材で保護。



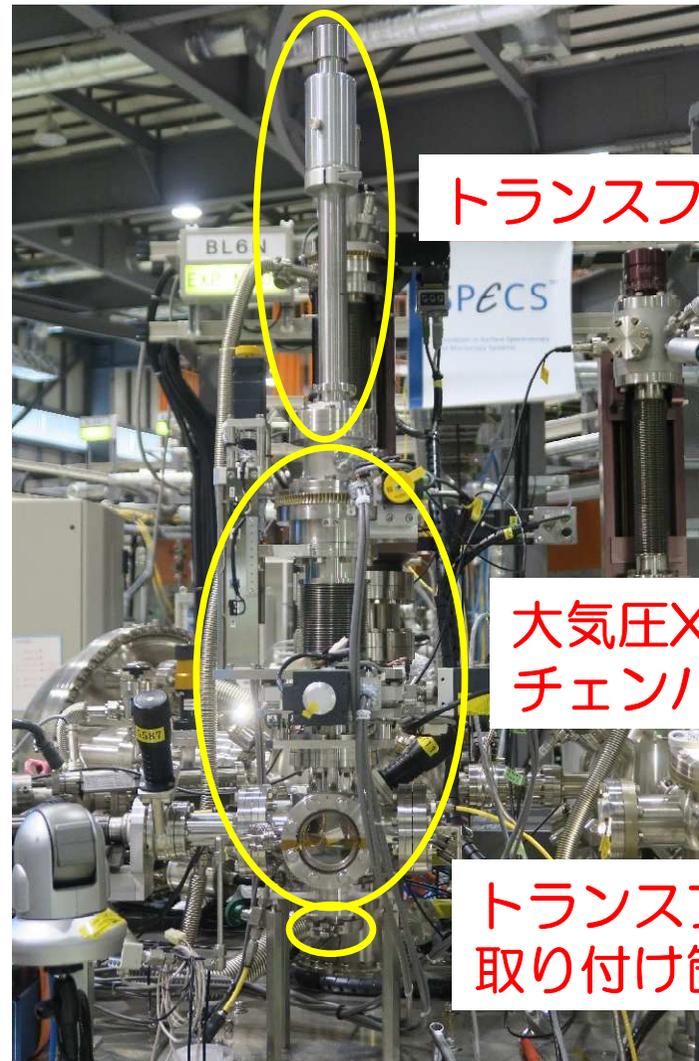
ケースを閉じ、
 ベルトで固定する。



付属品については
 収納品リスト
 をご確認ください。

5. チェンバーへの取付

大気圧チェンバー下部の取付ポート（NW40）にトランスファーベッセルを接続し，大気圧チェンバー内をヘリウムガスで置換した後，ゲートバルブを開き，トランスファーロッドでサンプルプレートを引き上げる。



トランスファーロッド

大気圧XAFS (Heパス)
チェンバー

トランスファーベッセル
取り付け箇所